

ホッケーゴール仕様

<留意事項>

2023. 7



ホッケーゴール仕様

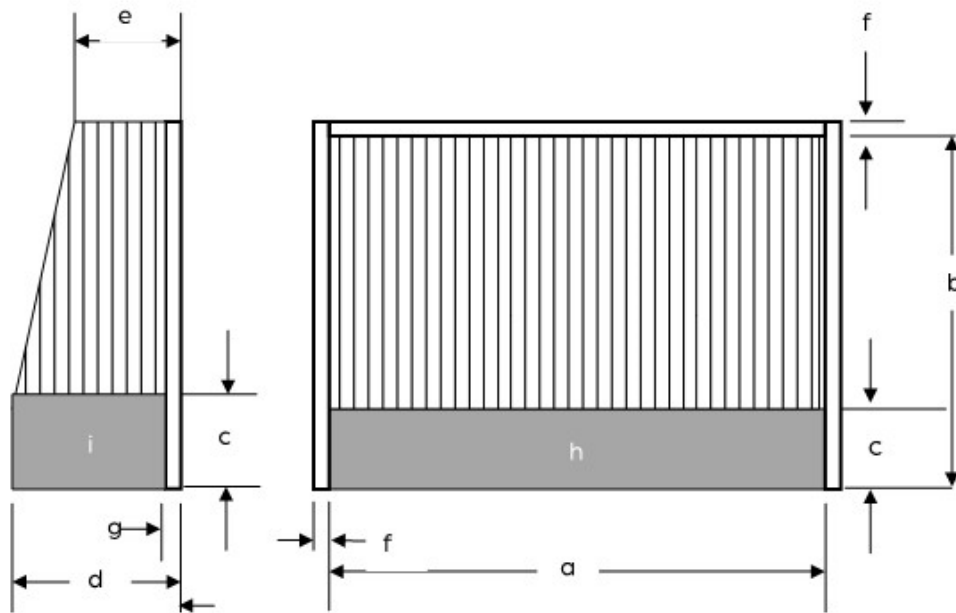
— 留意事項 —

1 はじめに

ホッケーゴールの構造に起因するトラブルを可能な限り回避し、かつ安全性を確保するために、公式試合で使用するホッケーゴールの仕様の留意事項を示します。購入や制作する際の参考にしてください。

2 ホッケー規則で規定されているゴールの要件

2本の垂直なゴールポストと、それらを結ぶ水平なクロスバー、2枚のサイドボード、バックボード、そしてネットから構成されていること。



a	3.66 m	b	2.14 m	c	460 mm	d	min 1.20 m	
e	min. 0.90m	f	50 mm	g	50 to 75 mm	h	Back-board	
i	Side-board							

2. 1 ゴールポストとクロスバー

- 1) ゴールポストとクロスバーは以下の通り
 - ・ 白色、または他の承認された色
 - ・ 断面が長方形
 - ・ 幅が50 (±1) mm
 - ・ 奥行きが50 mm から75 mm
- 2) ゴールポストはクロスバーより上に突き出ない、クロスバーはゴールポストより突き出ないこと
- 3) ゴールポストの内側の端から端までの距離は3.66 (±0.01) m、クロスバーの下端からピッチ表面までの距離は2.14 (±0.01) mであること
- 4) ゴールポストとクロスバーの後方、ネット、サイドボード、バックボードで囲まれた内側は、クロスバーから最低0.90mの奥行き、ピッチ表面のレベルでは最低1.20mの奥行きがあること。

2. 2 サイドボードとバックボード

- 1) サイドボードは高さ460 (±1) mm、長さ最低1.20m
- 2) バックボードは高さ460 (±1) mm、長さ3.66 (±0.01) m

- 3) サイドボードはピッチとバックラインに対して 90° の角度で、ゴールポストの後ろに取り付けられ、ゴールポストの幅は超えないこと。
- 4) バックボードはピッチとサイドボードに対して 90° の角度で、バックラインに平行に取り付けること。バックボードはサイドボードの端に取り付けること。サイドボードはゴールポストの外に突き出さないこと。
- 5) サイドボードとバックボードの内側全面には、ボールの跳ね返りを抑えて消音効果の効果のある「衝撃吸収材」を備えていること。
- 6) サイドボードとバックボードの内側は暗い色、または承認された色であること。
- 7) サイドボードのゴールの外側の面は、ピッチから打たれたボールがピッチに跳ね返る可能性のあるような凹凸等がないこと。

2.3 ネット

- 1) 編み目の最大サイズは 45mm
- 2) ネットはゴールポストとクロスバーに、150mm 以下の間隔を空けて取り付けること
- 3) ネットはサイドボードとバックボードに、ボールがネットとサイドボード、バックボードの間を通過しない間隔で取り付けること。
- 4) ネットはボールの跳ね返りを防ぐために緩く取り付けること

3 ゴールの設計

- 1) ゴールは自立式であること。ゴール、ネット、サイドボード、バックボード、ネットフレーム、支持装置、固定具など、必要な部品がすべて含まれた完全なセットであること
- 2) ゴールは試合中や運搬中に起こりうる負荷に耐えるように設計すること。取り付け部は溶接されるか、固定ナットなどでしっかり止め、使用中や移動中に緩まないこと
- 3) ネットまたはゴールフレームを支える取り付け部分は、ゴールポストやクロスバーの幅を超えて突き出ないこと
- 4) フレームの取り付けは、ボールがゴールに入り、それから跳ね返る可能性があるような方法でサイドボードやバックボードに取り付けないこと。
- 5) サイドボードとバックボードのすべてのエッジ形状は、選手が転倒した場合に危険になる可能性を最小限に抑え、ホッケーターフのプレー面のパイルを傷つけないこと。
- 6) ネットの支持フレームの垂直部分は、ネットの外側にあり、ボールがゴールに入ってもそれから跳ね返らないように固定すること。
- 7) ゴールを移動する際には、ゴールの部品が意図せず外れたり落下したりしないこと。

4 材料

ゴールは、使用中、試合中や運搬中、または予想される気候条件下で、ゴールの強度が損なわれないように選ばれた材料で制作すること。すべての材料は無毒であり、国内の環境および毒性に関するすべての規制に準拠していること。材料を選ぶときには、可能な限りリサイクルを考慮し、廃棄時に環境へ及ぼす影響に配慮すること。

4.1 ゴールポストとクロスバー

ゴールフレームは、強化金属部材、金属部材および非金属部材（例：木材）から作ること。耐衝撃性のある非腐食性に優れている強化金属押出材を推奨する。

- 4.1.1 最小肉厚は次の通りです：
 - ・前面：6mm
 - ・側面：3mm
- 4.1.2 ハイスピードのホッケーボールによるゴールフレームへの繰り返しの衝撃が、フレームにへこみや亀裂を引き起こさないこと。
- 4.1.3 ゴールポストとクロスバーの角部のエッジは、半径 3mm で面取りすること。
- 4.1.4 ゴールフレームの塗装は、耐久性や防錆性に優れている粉体塗装を推奨する。

4.2 ネット

ネットは、3mm（最小）の直径を持つUV耐性のある合成糸で制作すること。

4. 3 ネットの固定具

ネットの固定具は、非腐食性の金属またはプラスチック材料で制作すること。ネットの固定具は、プレイヤーがけがをすることがないように設計すること。金属のカップフックは使用しないこと。

4. 4 バックボードとサイドボード

バックボードとサイドボードの「衝撃吸収材」として、UV耐性の高密度ポリエチレン（HDPE）製の、20 mm以上の厚さを持つ押出成形された頑丈な形状を推奨する。

5 安全性

5. 1 ゴールの安定性

ゴールが風や衝撃に耐えて倒れないように、ゴールの重さ、形状を考慮すること。

5. 2 クロスバーの強度

クロスバーは変形や破損しないこと。

5. 3 ゴールフレームの安定性

ゴールフレームの角部は変形や損傷をしていないこと。

5. 4 身動きが取れない

ゴールの付属部品と固定部品の間指や頭、首が挟まれる危険や押しつぶされる危険がないように設計・製造すること。

6 保守

ゴールを長く安全に使用するために定期的な保守と修理を行うこと。

7 その他

東京オリンピックで使用したF I Hクラス1規格のホッケーゴール。

